

受付 ID	団体名	事業区分	テーマ	主な活動地域	事業名	事業期間（始まり）	事業期間（終わり）	事業実施場所	対象者	事業概要	交付決定額（円）
56	特定非営利活動法人あそと	施策推進公募型事業	地域における18歳以上のヤングケアラー支援事業	大阪市東部、北河内地域	ヤングケアラーの孤立を防ぐための居場所作りおよび支援ネットワーク構築事業	令和8年4月1日	令和9年3月31日	特定非営利活動法人あそと	・18歳以上のヤングケアラーを含む若者・18歳以上のヤングケアラーに関わる可能性のある支援関係者・18歳未満のヤングケアラー	18歳以上のヤングケアラーを含む若者が安心して過ごせる「居場所」を地域に設置し、孤立を防ぐことを目的とする。参加自由な大人数の居場所と、スタッフと深い関係性を築ける少人数の居場所を併設し、本人の状況に合わせた支援を行う。また、18歳未満の段階から切れ目のない支援を行うため、府立高校内での居場所（サードプレイス）運営も継続する。さらに、地域の多職種（行政、社協、医療機関等）を対象とした勉強会を開催し、ヤングケアラー支援のネットワークを構築することで、早期発見と適切な社会資源への接続を目指す。	4,979,000円
57	社会福祉法人大念仏寺社会事業団	施策推進公募型事業	地域における18歳以上のヤングケアラー支援事業	大阪市平野区	ヤングケアラー支援事業「ウィズ」	令和8年4月1日	令和9年3月31日	ブルーオーシャン	地域のヤングケアラー、またはその可能性のある児童や18歳以上の若者、施設退所児童 等	学習支援「ウィズスタディ」や子ども食堂「ウィズキッチン」等の居場所づくりを通じ、地域のヤングケアラーを早期に発見・支援することを目的とする。日常的な関わりの中で信頼関係を築き、必要に応じて行政支援へつなぐ。また、「ひらのこどもみんなの食堂食材センター」を運営し、地域のこども食堂等への物資支援を通じて、平野区内の「こどもの居場所ネットワーク」を強化する。これにより、こども食堂同士の横のつながりと関係機関との縦のつながりを構築し、地域全体での見守り体制を確立する。さらに、18歳以降の若者については、平野区役所や社協と連携し、ニーズ把握やアシスタントワーカーとしての受け入れを行い、制度の狭間にある若者が社会とつながれる仕組みづくりを目指す。	5,000,000円
58	NPO法人FAIR ROAD	施策推進公募型事業	地域における18歳以上のヤングケアラー支援事業	タイ王国バンコク、ターク県大阪市生野区、西成区、港区、鶴見区、大正区	「地域でよりそうE(Electronic Epsilon Empowerment Encounter)場所」	令和8年4月1日	令和9年3月31日	地域の居場所カフェ(生野区・西成区・港区・鶴見区)に集う18歳以上のヤングケアラー等の若者・当法人が運用する居場所を利用していた18歳以上のヤングケアラー等の若者・桃谷高校通信課程に通う生徒・オンライン講座やシンポジウムの参加者・当法人が運営する居場所(地域・中学校・高校)を利用する児童、生徒	・地域の居場所カフェ(生野区・西成区・港区・鶴見区)に集う18歳以上のヤングケアラー等の若者・当法人が運用する居場所を利用していた18歳以上のヤングケアラー等の若者・桃谷高校通信課程に通う生徒・オンライン講座やシンポジウムの参加者・当法人が運営する居場所(地域・中学校・高校)を利用する児童、生徒	18歳を境に支援が途切れ孤立しやすい若者に対し、通信制高校（桃谷高校）と地域（4区）を拠点とした切れ目のない支援を行うことを目的とする。校内居場所「モモカフェ」をアウトリーチの入り口とし、卒業後も地域の「出張居場所カフェ」でつながり続ける。さらに、病院や役所への「同行支援（訪問相談）」や、多様な大人と出会う「職場見学会」を実施し、社会的自立をサポートする。オンライン講座も開催し、市民の理解促進と支援の土壌づくりを行う。	5,000,000円
59	NPO法人やんちゃまファミリー-with	施策推進公募型事業	地域における18歳以上のヤングケアラー支援事業	松原市及び近隣市町村	多世代交流による自分らしく過ごせる場づくり	令和8年4月1日	令和9年3月31日	NPO法人やんちゃまファミリー-with	18歳以上のヤングケアラー、重層的課題をもつ若者、18歳未満で、今後この居場所に参加して欲しいヤングケアラー	18歳以上のヤングケアラーが安心して過ごし、進路や将来を語り合える「カフェ型の居場所」を運営することを目的とする。若者がカフェ運営やフードパントリー（食料配布）の準備・受渡しに関わることで、役割と強みを発揮し、自立へのステップとする。また、地域の高齢者との交流を取り入れ、多世代が支え合う地域共生モデルを構築する。さらに「松原ヤングケアラー啓発連絡会」を拡大開催し、学校・医療・福祉機関と連携して若者の実態把握と支援の抜け落ち防止を図る。	5,000,000円
60	一般社団法人 こもれび	施策推進公募型事業	地域における18歳以上のヤングケアラー支援事業	大阪市西区及び周辺区	若者のための支援事業～ぶーもあ～	令和8年4月1日	令和9年3月31日	一般社団法人 こもれび	ヤングケアラーと思われるおおむね中 3 ～29歳、ケアマネ連絡会等、若者支援に携わる人や関心のある人、関西の大学生等	ヤングケアラー自身が主体となって企画・運営する「カフェ事業（ワークショップ）」を通じ、自己肯定感の向上と仲間とのつながりを創出することを目的とする。単なる支援の受け手ではなく「運営側」となることで役割と自信を持つ。また、専門職（社会福祉士等）による個別相談を行い、課題解決を図る。さらに、ケアマネジャー等への研修や大学での講義を実施し、発見・支援の担い手を育成する啓発活動にも注力する。	2,109,000円
61	特定非営利活動法人ふうせん会	施策推進公募型事業	地域における18歳以上のヤングケアラー支援事業	大阪府内および関西圏域	18歳以上のヤングケアラー包括支援事業	令和8年4月1日	令和9年3月31日	特定非営利活動法人ふうせん会	○元・現ヤングケアラー ○潜在的ヤングケアラー ○ヤングケアラーを支援する専門職 ○ヤングケアラーに接する府民	元・現ヤングケアラーが経験を語り合う「つどい」を軸に、孤立・孤独の解消とエンパワメントを図ることを目的とする。当事者（ピアスタッフ）、福祉専門職、研究者が三位一体となった運営体制が特徴。大学での「出前講座」を実施して潜在的なケアラーを発見・支援につなげるとともに、大阪府の相談事業と連携した学生向けイベントを開催し、高校卒業後の切れ目のない支援体制を構築する。	5,000,000円
62	社会福祉法人八尾隣保館	施策推進公募型事業	地域における18歳以上のヤングケアラー支援事業	大阪府八尾市	学習支援びはーと	令和8年4月1日	令和9年3月31日	サテライトホーム	八尾市に住む中学1年生から高校3年生および18歳以上の若者ケアラー(状況によっては柔軟に対応可)	複合的な課題を抱える世帯の子どもやヤングケアラーに対し、学習支援を通じた居場所と個別相談の場を提供し、自己肯定感の向上と自立を支援することを目的とする。母子生活支援施設のノウハウを活かし、親子関係の再構築支援も含めた包括的なアプローチを行う。具体的には、週2回の学習・居場所支援に加え、18歳以上の若者には就労支援や家庭を訪問しての相談支援を実施する。また、大学での出前授業や小中学校との連絡会を通じて、潜在的なヤングケアラーの早期発見と地域への啓発を図り、自助・共助・公助が機能する地域づくりを目指す。	4,791,000円
63	社会福祉法人 大阪福祉会	施策推進公募型事業	地域における18歳以上のヤングケアラー支援事業	堺市(ハピネス・パークでは広域入所を全国より受け入れている)	ハピネス・パーク キッチンカー2026	令和8年4月1日	令和9年3月31日	ハピネス・パーク	18歳以上から30歳未満の若者	母子生活支援施設の実績を活かし、キッチンカーを活用した「実践型就労支援」と「アウトリーチ」を行うことで、潜在化しやすいヤングケアラーを発見・支援することを目的とする。キッチンカーで教育機関やイベントに出向き、若者に就労体験を提供して自立力を育むとともに、地域包括支援センターと連携して家族全体の課題解決（根本解決）を図る。また、「地域コミュニティ広場」を開設し、進路相談や社会体験ができる居場所を提供する。	5,000,000円
64	一般社団法人あしたみっけ	施策推進公募型事業	地域における18歳以上のヤングケアラー支援事業	大阪府内全域	ヤングケアラーがもっと自分らしく「あした」をみつけられるように・・・	令和8年4月1日	令和9年3月31日	なごみかふえプラス in あしたみっけ	1 8 歳以上の若者ケアラー（ヤングケアラー）及び1 8 歳前後で若者ケアラーになる可能性がある子ども。それらに関わる関係者。	18歳以上のヤングケアラーの早期発見と継続支援のため、大学（四天王寺大学）や高校（信太高校・佐野工科高校）の校内に「居場所・相談窓口」を設置することを目的とする。学内居場所では、臨床心理士等の専門家や元ケアラー職員を配置し、ピアサポートや就労・進学相談を行う。また、富田林市等の公共施設（Topic等）でも出張型の居場所を展開し、地域住民への周知を図る。校内・地域・オンラインを組み合わせ、若者が孤立せず「あした」を見つけれよう伴走支援を行う。	4,986,000円